

## ERE information

Vol.25 2014年2月20日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/斧崎 幸彦  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

## Contents

- ▶第25回経済学検定試験：『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに前回平均点を下回る
- ▶第20回「大学対抗戦」：琉球大学「杉田ゼミ」チームが初優勝！
  - ・ERE受験準備でマイクロ・マクロ経済学の全般を理解（優勝チーム 正木清駿さん）
  - ・基本問題を速く正確に解くことを常に意識（準優勝チーム 辻智博さん）
  - ・問題演習を積み重ね、難問は納得がいくまで学習（個人賞トップ 米須惟さん）
- ▶第21回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第26回ERE実施要領
- ▶委託会場制度利用のご案内

## 《第25回経済学検定試験》

『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに  
前回平均点を下回る

2013年12月1日（日）に実施いたしました第25回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびお取りまとめご担当者の皆様への試験の成績に関するご通知・ご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,459名でした。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREは前回の平均点を26.9点下回りました。マクロ経済学、金融論、国際経済、統計学が前回は上回ったものの、マイクロ経済学と財政学が前回は下回っています。

EREマイクロ・マクロも前回の平均点を32.0点下回りました。マクロ経済学が前回の平均点を上回ったものの、マイクロ経済学が前回は38.9点下回っています。

## 《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	111.2点	129.1点	48.5点	40.7点	46.4点	39.1点
(前回)	154.4点	114.2点	55.4点	39.8点	40.0点	37.9点
標準偏差	47.55	40.17	22.67	19.69	18.16	21.55
(前回)	45.62	43.77	21.12	16.38	18.26	19.53

## 《資料1-2》

## 『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	96.8点	103.6点
(前回)	135.7点	96.8点
標準偏差	39.76	35.64
(前回)	44.53	39.67

## 《資料2》

## 成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	111名	1,348名
受験者数	75名	1,067名
平均点	414.9点	200.4点
標準偏差	125.31	67.46
最高得点	700点	470点
最低得点	160点	40点

## 《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	青山学院大学	92	20	岡山商科大学	13
2	九州共立大学	75	20	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	13
3	琉球大学	66	24	関東学園大学	12
4	龍谷大学	63	25	明治大学	11
5	日本大学	55	25	立命館大学	11
6	久留米大学	46	27	酪農学園大学	10
7	創価大学	42	27	明海大学	10
8	麗澤大学	39	27	広島修道大学	10
9	山口大学	33	30	名古屋学院大学	9
10	中央大学	30	31	名古屋市立大学	8
10	関東学院大学	30	31	大阪経済大学	8
12	熊本学園大学	21	33	成蹊大学	7
13	福島大学	19	33	福山大学	7
13	大原法律公務員専門学校(福岡校)	19	35	小樽商科大学	6
15	旭川大学	18	35	金沢大学	6
16	九州産業大学	17	35	同志社大学	6
17	大分大学	16	38	新潟産業大学	4
18	東京国際大学	15	38	長岡大学	4
18	法政大学	15			
20	弘前大学	13			
20	跡見学園女子大学	13		個人申込み	567

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」+「大学対抗戦受験申込者数」です。

## 《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	熊本壺溪塾学園	坪井本校・水前寺校	矢住 勝大	S
2	明治大学	政治経済学部	石黒 大地	A+
2	明治大学	政治経済学部	大沼 英明	A+
4			大木 健輔	A+
5			清水 邦敏	A+
5				A+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
7			鈴木大志	A+
8	小樽商科大学	商学部経済学科	大津卓也	A
9			小島武	A
10				A
11	北海道大学	公共政策大学院	石丸洋人	A
11	法政大学	経済学部	加治佐一晃	A
11	学習院大学	経済学部		A
14				B+
14	長崎大学	経済学部	一好建志	B+
16	創価大学	経済学部	小林英雄	B+
16				B+
18			但馬和浩	B+
19	北海道大学	経済学部	竹内康司	B+
19	青山学院大学	経済学部	石政龍矢	B+
19	和歌山大学	経済学部	富岡祐介	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	ランク
1	琉球大学	法文学部	米須惟	S
2			呉小あ	S
3			劉揚	S
3	大阪経済大学	経済学部	尾田瑞樹	S
3	琉球大学	法文学部	石川大貴	S
3	琉球大学	法文学部	上原弘也	S
7			王思涵	S
7	山口大学	経済学部	鈴木佑亮	S
9			寺田好秀	S
9			黄穎	S
9			平尾忠嗣	S
12	千葉銀行	業務集中部	清野純	S
12	慶應義塾大学	経済学部	志村隼人	S
12			L I Z U A N	S
15	明治大学	政治経済学部	鶴留和貴	S
15			戴黎晶	S
15			王琳	S
15	名古屋市立大学	経済学部		S
15	大阪大学		徐伊葭	S
15	山口大学	経済学部	藤永晃喜	S
15	琉球大学	法文学部	正木清駿	S
22	中央大学	経済学部	宮川翔人	S
22			白諾文	S
22	明治大学	政治経済学部	松田麟太郎	S

## 《第20回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

### 琉球大学「杉田ゼミ」が初優勝！

準優勝は名古屋市立大学チーム／個人成績トップは米須惟さん

第20回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、15校24チーム、計161名で競われました。今回は、跡見学園女子大学、熊本学園大学、成蹊大学から新規に参加いただきました。優勝は、琉球大学の「杉田ゼミ」チームでした。1680点を獲得しての初優勝です。準優勝チームは、1260点を獲得した名古屋市立大学の「チーム外谷ゼミ」チームです。第3位には、1200点を獲得した創価大学の「経済学理論同好会」チームが入りました。「大学対抗戦」個人成績のトップは、470点を得点した琉球大学「杉田ゼミ」チームの米須惟さんです。

なお、個人賞は350点以上11名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さまには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チームの上位4名までの平均点は246.77点で、前回は59.48点下回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	杉田ゼミ	琉球大学	1680点	420.0点
準優勝	チーム外谷ゼミ	名古屋市立大学	1260点	315.0点
第3位	経済学理論同好会	創価大学	1200点	300.0点

\*参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

## ■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

### ☆優勝（初優勝） 琉球大学「杉田ゼミ」

#### ERE受験準備でミクロ・マクロ経済学の全般を理解

今回、大学対抗戦優勝という結果を残せたことをメンバー一同、大変嬉しく思います。私達が優勝できたのは、周りの方の支えがあって成し遂げることができたと感じています。

私たちのゼミナールでは、去年の夏頃から受験者各自ミクロ・マクロの基礎知識の復習、そして各自でEREの過去問を解き、わからない問題は受験経験者が解説していくことで、皆で理解を深めていきました。

私達が属する大学ではERE受験に際して受験料の一部を大学が負担して経済学専攻の学生はできるだけ受験するよう勧められています。EREの受験準備によって経済学の基礎であるミクロ・マクロ経済学の全般的な理解が得られ、そして経済学の面白さも再発見できました。

私たち杉田ゼミは来年度も大学対抗戦に参加して優勝を狙って頑張っていきたいと思います。

(杉田ゼミ 正木清駿さん)

## ☆準優勝 名古屋市立大学「チーム外谷ゼミ」

### 基本問題を速く正確に解くことを常に意識

私の主な学習方法としては、ゼミのメンバーと共に学習に取り組むという方法でした。EREの試験を申し込むにあたって、ゼミの先生から団体戦を勧められたのがきっかけでしたが、どうせやるならみんなで頑張ろうとその日からゼミの時間や、空いた時間にみんなで自主的に集まってわからないところを教えあったり、過去問を解くなどして対策に励みました。

個人的な学習方法としては、EREの試験は学部レベルでは教わらないような難易度の高い経済理論を用いた問題も出題されるので、基本的な問題をいかに速く正確に解けるかということに常に意識して問題演習に取り組みました。また、過去問を解いていくうちに傾向もわかってくるので直前期にはそこに重点をしばって本番に臨みました。

個人賞の受賞はなかなか難しいかもしれませんが、団体戦ならみんなで互いに高め合いながら学習を進めることができるのでお勧めです。最後に準優勝という素晴らしい結果を残すことができたのは、私だけの力ではもちろんないのでみんなに感謝したいと思います。

(チーム外谷ゼミ 辻智博さん)

## ☆個人賞トップ

### 問題演習を積み重ね、難問は納得がいくまで学習

この度、2度目の受験で個人賞のトップを獲得することができ大変嬉しく思っています。

丁寧に指導してくださった杉田勝弘先生をはじめとする先生方、同じ目標に向かって共に切磋琢磨してきたゼミの仲間たちのおかげでこのような結果を残すことができました。この場をお借りして支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

私たちのゼミでは計量経済学を専門としていますが、経済学を学ぶ上でマイクロ経済学、マクロ経済学を理解することは非常に重要であるという考えのもと勉強会を行ってきました。

問題演習を積み重ね、難問にぶつかると納得がいくまでゼミの仲間たちと議論し合い、武隈慎一先生や井堀利宏先生が書かれた教科書を何度も読み返しました。そうすることで初めはバラバラだった知識がだんだんと体系立てて理解できるようになりました。

大学生活で得たものは沢山ありますが、EREを受験することで経済学に対する理解が深まり、同時に経済学を学ぶ楽しさを知ることができました。私は本年度で大学を卒業しますが、今後も知識を増やし、より深く広く経済学を理解できるよう日々精進していきたいと思っております。

(琉球大学 杉田ゼミ 米須惟さん)

## 2014年7月受験用 ERE経済学検定試験 問題集

### 直近4回分360問をポイント解説！

- 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会が認定する唯一のERE受験対策問題集です。
- 第22回～第25回の試験問題と解答・ポイント解説を掲載。本書により出題傾向がつかめます。
- 国家公務員試験の受験対策、演習用のテキストとしても有効に活用できます。

経済法令研究会 編 日本経済学教育協会 認定  
A 5判 304頁 予価1,995円(税込)

# 第21回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2014年7月6日(日) 実施

●受付期間：2014年4月22日(火)～5月23日(金)〈消印有効〉

※エントリー料：無料

## ●前回まで参加した49校 (50音順)

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／  
大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／九州大学／  
京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／  
札幌大学／上智大学／成蹊大学／創価大学／高崎経済大学／中央大学／  
筑波大学(同大学院)／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／同志社大学／  
東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／名古屋学院大学／  
名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／  
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／明治大学／  
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学



# 日経TEST

<http://ntest.nikkei.jp>

## 経済知力

とは、知識や情報を有効に活用して、経済のしくみや流れを理解し、新しいビジネスを生み出す能力のこと。日経TESTは、「経済知力」がどのくらい備わっているかを客観的に測ります。

### 全国一斉試験

年2回、全国で実施

実施日：2014年 **6/15**(日)・**11/9**(日)  
会場：札幌・盛岡・仙台・東京・新潟・名古屋・  
金沢・大阪・広島・高松・福岡・熊本  
出題形式：マークシート方式による四肢択一  
100問80分  
受験料：**5,400**円(税込み)  
出題分野：経済・ビジネスの基礎、金融・証券・産業動向、  
企業経営、消費・流通、法務・社会、国際経済  
などの幅広い分野から出題

### テストセンター試験

都合の良い時に最寄りの会場でPC受験

全国一斉試験と同じコンセプトの100問を、都合の良い日時を選んでPC受験していただけます。試験終了後、成績表がすぐに閲覧でき、印刷して持ち帰ることができます。

受験地域：主要都市、全国50ヶ所  
(ウェブサイトでご確認ください)

受験期間：電子受験票(パウチャーチケット)発行日から60日以内。

受験料：本体価格**6,000**円  
(受験料5,000円+施設使用料1,000円)  
お申し込みの完了が4月1日以降の場合は消費税8%が適用されます。

日経TEST

検索

## 就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

### ■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

### ■出題科目等

#### 〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／  
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

#### 〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

### ■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

### ■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国15の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

#### 《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21  
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp



— 経済学の学習到達度を測定 —

## 2014年度 第26回 E R E 実施要領

### 『E R E』（6科目）

実施回	第 26 回
試験日	2014年7月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2014年4月22日（火）～2014年5月23日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4 択一式／90問，1 問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

### 『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 26 回
試験日	2014年7月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2014年4月22日（火）～2014年5月23日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,240円（税込）
出題形式	4 択一式／50問，1 問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

### 委託会場制度利用のご案内

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものです。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込みをいただく場合は「団体受験申込制度」があり、一定の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。

詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

#### ■検定試験運営センター

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

TEL：03（3267）4821 FAX：03（3267）4999 e-mail：info@ere.or.jp